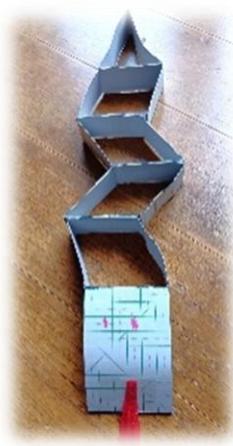


なすしおぼら ボランティアセンター情報誌

令和7年9月20日号



▲くねくねへビ



チャッチ&フラワー▶



いろりの会

～昔のおもちゃをつくってみよう!～

『黒磯郷土館解説ボランティアいろりの会』が、7月27日（日）黒磯郷土館夏休み特別企画として、おもちゃ作りのイベントを開催しました。訪れた子どもたちと一緒に「くねくねへビ」と「キャッチ&フラワー」工作を楽しみました。細く切った方眼用紙を四角に折りテープで繋げたり、コップに印を付けハサミで切り込みを入れるなど、様々な作業工程がありました。子どもたちが簡単に作れるように、何度も試作をして改良を重ねたとのこと。その他にもお手玉遊びをやったりと、昔の遊びに触れる貴重な体験の場になっていました。

いろりの会は、社会科見学で来館した児童へ、体験活動の支援及び案内解説を行う活動などを行っています。



睦木の会～絵手紙で利用者と交流～



7月25日（金）絵手紙ボランティア『睦木の会』が、デイサービスセンターりんどうで、利用者と絵手紙を描きながら交流を行いました。この日は野菜を題材に、あらかじめ下絵が描いてあるハガキを準備し、利用者が輪郭線を墨でなぞりました。次に色を塗る工程では、薄い色から徐々に濃くしていくこと、実物の野菜をよく見て、光が当たるところは色を塗らないなどアドバイスがありました。最後に思い思いの言葉と落款^{らっかん}（※）を入れて完成となりました。

初めて絵手紙を描いたという利用者も、睦木の会の皆さんのサポートもあり、素敵な作品に仕上がっていました。最後に一人ずつ完成した作品を発表し、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。

※作品において、作者が完成を示すために押す印や署名



夜の公民館で・・・肝試しイベント！ 「塩原のかたいべ」が怖い話を披露



▲佐藤さん ▲長澤さん



8月2日（土）稲村地区子供会育成会連絡協議会・稲村公民館共催の肝試しイベント「夜の公民館」が、稲村公民館で開催されました。例年、定員を超える応募があるこのイベントで、「塩原のかたいべ」が集まった小学生に怖い話を披露しました。薄暗くした部屋で、長澤さんが「おぶさりてえ」を、佐藤さんが「耳なし芳一」を話しました。初めはそわそわしていた子ども達も、その静かな語り口調に話の世界に引き込まれ、最後は、息をのんで聞き入っていました。怖い話が終わると、子ども達は懐中電灯を持ち、その光を頼りに真っ暗な夜の公民館へと進んで行きました。

ダンスと歌でみんな笑顔に😊 「フォークダンス舞夢」が施設で交流



8月21日(木)フォークダンス舞夢が小規模多機能型居宅介護事業所マリモの家を訪問し、ダンスと歌で交流しました。

まずレクダンス5曲を披露すると、利用者の皆さんは手拍子をしながら楽しんでいました。ダンスの合間には、歌詞カードを配り「みかんの花咲く丘」と「瀬戸の花嫁」を全員で歌いました。後半は、世界のフォークダンス5曲を披露しました。アンコールもあり、最後は「こまどりサンバ」で盛り上がりました。フォークダンス舞夢の皆さんが「また来ますね。お元気で」と声をかけると、利用者の皆さんは「素晴らしかった」「楽しかった」と返していました。



第2回ふれあい那須塩原 at 西那須野



9月6日(土)地域共生社会の実現に向けた地域づくりの活動として、『第2回ふれあい那須塩原 at 西那須野』が健康長寿センターで開催されました。会場では様々な団体がブースを出店し、スタンプラリーも行っていました。ステージでは、RUN伴栃木2025チーム那須塩原のスタートセレモニーを皮切りに、太鼓や歌やダンス発表などが行われました。最後は、参加者・来場者みんなで盆ダンスを踊り、会場はたくさんのふれあいと笑顔で溢れていました。

参加者も「たくさんの方々と繋がれるので楽しい」と話していました。





令和7年度中学生・高校生 ボランティアサマースクール



8月3日(日)「知ろう、学ぼう、障害のこと」をテーマに、健康長寿センターでボランティアサマースクール【中学生プログラム】を開催し、28名の中学生が参加しました。

午前は「手話サークルつばさ」の皆さんを講師に招き、手話体験を行いました。3グループに分かれ、各グループにはろう者と聴者の講師が入り、身振りで伝えたり、あいさつ・名前・家族・スポーツ・食べ物などの手話表現を楽しく学びました。更に、耳が聞こえない人の生活の話や今年初めて日本で開催されるデフリンピックの紹介もありました。

参加者からは「手話を覚えるのは難しかったが、手話で触れ合うことができて嬉しかった」「耳が聞こえなくても、手話という言葉で通じ合えるということがわかった」などの感想がありました。



午後は全盲で車いすユーザーの渡邊伸勝さんを講師に招いて、全盲・車いす体験を行いました。まず初めに渡邊さんは、自身の障害についてや普段の生活の中で困ること、工夫していること、今取り組んでいるアームレスリングのことなどを話しました。車いすのため身体障害があると思われるが、視覚障害があるということになかなか気付いてもらえないという渡邊さん。参加者には、アイマスクを着けて折り紙を折る体験をしてもらいました。更に渡邊さんと同じ状態を体験してもらうため、アイマスクを着けて車いすで移動する体験と、1人1人の質問に渡邊さんが答えるお話会で交流を深めました。

参加者からは「目が見えないから何もできないという訳ではないことがわかった」「誰に対しても思いやりの心を持つことが改めて大切だと思った」などの感想がありました。



体験や交流を通してそれぞれが障害者への理解を深め、自分にできることを考える機会になったのではないのでしょうか。

8月6日(水)「災害と福祉」をテーマに、いきいきふれあいセンターでボランティアサマースクール【高校生プログラム】を開催し、10名の高校生が参加しました。

午前は防災士の小泉信三さんを講師に招き、災害講座を行いました。4グループに分かれて防災ゲームを行った後「那須地区の災害について考える」と題した講話を聞き、那須地区における災害の歴史や災害に対する心構えなどを学びました。更に野菜シートと非常用餅の試食をし、非常用トイレ・簡易トイレの使い方なども体験しました。

参加者からは「先生がユーモアあふれる方で話を聞いていて楽しかったし、災害に備える大切さを学べた」「非常食を作って食べる体験がとても勉強になった」などの感想がありました。



午後は「傾聴ボランティアグループひまわり」の皆さんを講師に招いて、傾聴講座を行いました。「聞く」と「聴く」の違いや、「傾聴」とは、相手の話に目と耳と心を傾けて聴く会話の技術であるということを知りました。また、聴くためのトレーニングとして「うめライス」が紹介されました。その後、グループに分かれてロールプレイやワークを行い、それぞれがアドバイスを受けました。最後のワークでは、高校生が聴き手となり、講師と1対1で傾聴を行いました。講師たちは「活動を始めたきっかけ」や「活動を通して楽しかった経験」などを話し、学んだスキルを活かして真剣に話を聴く姿が見られました。

参加者からは「コミュニケーション能力が身に付いたと思う。人と話すことが楽しく思えるようになった」「以前から傾聴ボランティアに興味があり、ボランティアの方と話したりアドバイスをいただくことができ、とても良い時間になった」などの感想がありました。



全体を通して「来て良かったと思える会だった」との感想もあり、今回学んだことをそれぞれの今後に活かしてもらいたいです。

「目が見えません」マーク

渡邊さんは、全盲であることが周囲に伝わりづらいことから、お互いに不快な思いをしたり、誤解を招いてしまった経験がありました。その出来事をブログに投稿したことがきっかけで、プロ友からアイデアをもらい完成したのが「目が見えませんマーク」です。詳しくは、ブログ「のぶとさち」を覗いてみてください。



傾聴ミニ講座

傾聴講座の中にあつた、話の聴き方のポイント「うめライス」をご紹介します。

- う…うなずきながら
- め…目を見て
- ラ…ラストまで
- イ…一生懸命
- ス…スマイルで





夏休み！親子ボランティア体験教室 ～盲導犬について学ぶ～



7月26日（土）市内の小学4～6年生の親子を対象とした「令和7年度夏休み！親子ボランティア体験教室」を開催しました。東日本盲導犬協会から講師を招き、午前の部・午後の部と2回、盲導犬体験教室を行いました。盲導犬のことだけでなく、視覚障害についても学ぶことができ、親子で理解を深めていました。後半では、アイマスクをつけて盲導犬との歩行訓練も体験しました。「盲導犬と歩く貴重な体験ができて良かった」との声が、体験した小学生から聞かれました。最後には盲導犬とふれあうこともでき、夏休みの貴重な体験の一つになったと思います。



那須塩原市聴覚障害者協会 創立 20 周年を祝う！

手話の啓発と、聴覚障害者の社会的な理解を深めるために様々な活動を行っている『那須塩原市聴覚障害者協会』が、9月6日（土）いきいきふれあいセンターで創立20周年記念大会を行いました。

第一部の式典では、3市2町の市長・町長より祝辞があり、長い間協会を支えてきた鈴木会長と故副会長の黒須さんに感謝状の贈呈が行われました。第二部は、那須英彰氏による記念講演があり、聴覚障害者ならではのハプニングや失敗談をユーモアたっぷりに熱演され、引き込まれると同時に、なるほどと改めて考えさせられるお話でした。最後はお楽しみ抽選会もあり、会場は盛り上がりました。

今後さらに、聴覚障害者が社会参加できるよう、理解を深めていく事が大切だと思います。





ボランティアのお知らせ



アジア学院収穫感謝の日

【活動日時】令和7年10月18日(土)・19日(日) 9時00分～15時00分 ※雨天決行

【活動場所】アジア学院内及び槻沢小学校

【集合】9時00分 アジア学院事務所(那須塩原市槻沢442-1)

【活動内容】駐車場整理ボランティア

【人数】各日5名程度

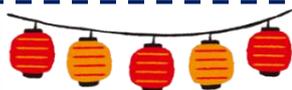
【持ち物】飲み物(水分補給用)、その他必要に応じて御用意ください。
※雨天決行ですので、雨具を御用意ください。

【その他】お昼の食事券が配布されます。

【申込期限】令和7年9月30日まで ※定員になり次第締め切らせていただきます。

【申込先】那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター 担当 植野

TEL:0287-47-6700



東原秋祭り in サ高住あじさい



【活動日時】令和7年10月19日(日) 9時00分～16時00分

【活動場所】サービス付き高齢者向け住宅あじさい・デイサービスゆり

【集合】8時50分 デイサービスゆり(那須塩原市東原163-29)

【活動内容】①駐車場係、②販売・会場案内係

※②は場合により、施設の利用者と会場内を歩いてもらう事もあります。(介助なし)

【人数】駐車場係5名、販売・会場案内係3名

【その他】お昼の用意はありませんので、必要に応じてご用意ください。

【申込期限】令和7年9月30日まで ※定員になり次第締め切らせていただきます。

【申込先】那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター 担当 大森

TEL:0287-47-6700



光星祭 2025～みんなが笑顔～



【活動日時】令和7年10月5日(日) 集合9時00分 解散14時30分頃

【活動場所】マ・メゾン光星(那須町大字豊原乙1189)

【活動内容】各店舗の販売補助、利用者の買い物補助、ゲームコーナー、駐車場案内、アートギャラリー手伝い、会場美化等

【人数】何人でも可(できるだけ多くの参加をお待ちしております。)

【その他】活動内容の分担、タイムスケジュール等は出来上がり次第お知らせいたします。

【申込期限】令和7年9月30日まで

【申込・問い合わせ】社会福祉法人 慈生会 マ・メゾン光星

TEL:0287-77-1013 ボランティア担当:大平 雅士

音訳ボランティア養成講座（初級編）

目の不自由な人のために、市の広報などを音声にして情報を提供する音訳ボランティア。
音訳ボランティアを目指す初心者向けの講座です。



【日 時】10月8日・15日・22日・29日（全て水曜日・全4回）
10：00～12：00

【場 所】健康長寿センター 2階 ボランティアルーム

【対 象】那須塩原市民（なるべく全日参加できる方）

【講 師】檜山 知子 氏

栃木県社会福祉協議会 とちぎ視聴覚障害者情報センター 元職員
ボランティアグループ 音訳テクニカルサポート「Ravi」代表

【申込期間】9月19日（金）～10月4日（土）

【申し込み・問い合わせ】那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター

TEL：0287-47-6700（平日8：30～17：15）



申込みフォーム

ボランティア活動実績

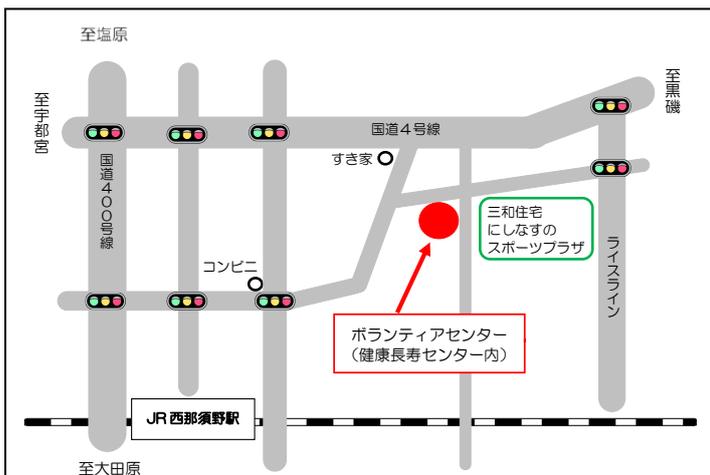
7月	イベント他	14件	64人	8月	イベント他	13件	44人
	傾聴	22件	36人		傾聴	17件	25人
福祉体験	3件	10人	福祉体験	1件	4人		
合計	39件	110人	合計	31件	73人		

ボランティアセンター登録数（8月31日現在）

団体	個人
105団体（非公開含む）	89人



【ボランティアセンター】



地域共生社会振興基金寄付者一覧

（令和6年9月1日～令和7年8月31日）（敬称略）

- ・国際医療福祉大学病院
- ・そすいの郷ふるさとにしなす産直会
- ・那須塩原市一般廃棄物処理協同組合

地域共生社会振興基金とは、地域共生社会の実現のため、
那須塩原市社会福祉協議会が設置している基金です。

発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒329-2705 那須塩原市南郷屋5-163
（健康長寿センター内）

TEL 0287-47-6700/FAX 0287-47-6690

Eメールアドレス v.center@ns-shakyou.jp



▲ボランティアセンター情報誌



▲ボランティアセンター公式LINE



▲那須塩原市社協フェイスブック

★メール、FAX、電話でみなさまの感想や情報をお寄せください。

